

指定管理者制度導入施設 最終評価シート

1 基本情報

公の施設名	L C A国際小学校北の丘センター（相模原市立北市民健康文化センター）
指定管理者名	北市民健康文化センター運営共同事業体 （公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社フクシ・エンタープライズ）
指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため （相模原市立市民健康文化センター条例第2条）
施設概要	所在地 緑区下九沢2071-1 ・敷地面積 9,072.88㎡ ・建築面積 4,454㎡ ・延床面積 9,069㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨（地下1階 地上3階） 1階 プール、展示コーナー、トレーニングルーム 2階 障害者プール、娯楽室、談話室、多目的会議室、講習室 3階 浴室 大広間
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目（単位）	令和6年度	令和7年度
利用者数合計（人）	237,548	237,376
利用料金合計（円）	52,190,450	49,931,073

3 成果指標の達成度

	令和6年度	令和7年度				評価点 （20点満点）	評価点
評価（5評価）	B	A					12.5

指標1

指標名（単位）	プールの利用人数（人）
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進が達成されるため、成果指標とする。

項目（単位）	令和6年度	令和7年度
目標値（人）	168,000	168,000
実績値（人）	145,448	141,411
達成度（％）	86.58	86.58

指標2	
指標名（単位）	自主事業の参加人数（人）
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターの諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。

項目（単位）	令和6年度	令和7年度
目標値（人）	32,000	32,000
実績値（人）	35,448	39,674
達成度（％）	110.8	86.6

4 事業の実施状況

	令和6年度	令和7年度				評価点 (20点満点)	評価点
評価（5評価）	A	A					15

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
「健康保持・増進」を推進する事業	プール教室や体操教室等の事業	健康保持・増進に繋がった。
「文化の振興・福祉の充実」を推進する事業	「寄せ植え教室」や「絵手紙教室」等の事業	新規参加者及びリピーターの獲得に繋がった。
「地域のふれあい・魅力づくりへの貢献」を推進する事業	近隣施設と連携したスタンプラリーや展示コーナーを活用した地域サークルの発表・展示等の事業	施設を知ってもらうきっかけにもなり、施設の活性化に繋がった。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和6年度	令和7年度				評価点 （20点満点）	評価点
	B	B					10

利用者満足度調査	
調査手法	利用者へのアンケート調査
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	令和6年度	令和7年度
目標値（％）	90.0	90.0
実績値（％）	85.9	87.7
達成度（％）	95.4	86.6

利用者意見の把握に資するその他の取組	
主な取組事項	取組内容
意見箱の設置	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	参加教室に関してのアンケートを実施。（文化教室のみ）教室終了時に回収。

利用者意見に対する対応	
主な意見	対応内容
2Fプールの水温調整に使用している水道ホースのレイアウトを変更してほしい。 （障がい者が注意散漫になってしまう）	不使用時はプール槽内から見えないよう収納方法を改善し、使用時は触らないよう注意喚起の貼紙を設置した。
1Fホールの本を更新してほしい	ブックオフコーポレーション株式会社から書籍の寄贈を受け、更新した。
工作関係の事業を実施してほしい	ダンボール工作教室を市内小中学校夏休み期間で定期的実施した。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	令和6年度	令和7年度				評価点 (20点満点)	評価点
	B	C					7.5

施設の収支概要		(千円)	
項目	令和6年度	令和7年度	
収入（a）	275,236	274,833	
指定管理料	194,996	198,210	
利用料金収入	52,191	49,931	
その他の収入	28,049	26,692	
支出（b）	292,664	292,778	
人件費	127,361	127,551	
本社管理経費	5,048	5,042	
その他の支出	160,255	160,185	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	-17,428	-17,945	
自主事業収入（d）	26,268	26,153	
自主事業支出（e）	12,486	14,662	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	13,782	11,491	
全体収支 【(c)+(f)】	-3,646	-6,454	
備考			

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果	
	令和6年度	令和7年度
管理業務	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施
加点の有無	無	無
主な加点内容		

8 指定管理者の自己評価

今期の指定管理期間中（令和6年度・令和7年度）は、施設の老朽化が顕著となったことで設備不具合が各所で発生し、プール施設の一部、若しくは、全てを休止せざるを得ない状況である。これらの影響もあり、目標値の一つである「プール利用者数」が未達成となった。

当該施設については、今後、大規模な改修事業により施設休止が予定されていることから、応急的な措置のみで対応する設備も増えているため、利用者への影響を最小限にできるよう、予防保全等に注力した施設の維持管理に努めた。

また、「自主事業の参加人数」については、魅力的な自主事業の展開や新規及びリピーターの参加者を確保できたことから、施設の魅力向上に繋げることができ、結果として目標値を達成させることができた。今後も引き続き、幅広い年齢の方々が利用したくなるような施設運営に努めていきたい。

9 所管課意見

令和6～7年度にかけて、施設のジャグジープールからレジオネラ属菌が検出され、当施設では前例のない中で市保健所の指示を基に、これまで北市民健康文化センターの指定管理者としての経験と知識を基に、適切な管理運営を行いながら利用者への周知などにおいて柔軟に対応できた点は評価できる。

物価高など消費者をめぐる厳しい状況の中で、自主事業の内容を見直し、プールでは水泳の習熟度に合わせた教室を設定したり、文化系の教室では受講者にアンケートしてニーズを把握し翌年度に開催する教室に反映させるなど、施設の利用者を増加させようとする積極的な姿勢も評価できる。

開所から25年が経過し施設の老朽化が進行する中で、必要箇所については事前に計画を立てたうえで修繕を実施しつつも、夏季の冷房機器の不具合や長期に渡る漏水、レジオネラ属菌の検出など利用者数に大きく影響するようなイレギュラーな問題も市と一体となって迅速な対応を行っている事から、適切な管理ができていると考える。今後も必要性や緊急性等を鑑みながら予算の範囲内で最大限の効果が出る様に市と協力し、修繕をはじめとした施設管理をお願いしたい。

10 選考委員会意見

利用者のニーズの把握に努め、自主事業に反映させるなど利用者の増加へ意欲的に取り組み、成果を出している点は評価できる。また、地域や企業と連携した取組や今までの経験を基にした施設老朽化への迅速な対応は評価できる。施設を計画どおり運営できる様に努めているが、利用者の安全・安心を最優先として、必要な場合には施設の休止等をためらわず判断してほしい。

利用者数の回復については、単にコロナ禍前に戻ることを前提にするのではなく、物価高に伴う実質賃金の低下、利用者の行動変容、民間サービスの多様化等を踏まえて考える必要がある。今後の施設運営においても社会状況や利用者ニーズの変化を踏まえ、臨機応変に工夫して取り組んでほしい。

総合評価（自動判定）

B

(60/100)

